

愛知・名古屋2026大会における遠隔同時通訳拠点設置運營業務委託に関する質問及び回答

2025年3月14日17:00現在

No.	書類	該当箇所	質問内容	組織委員会回答
1	契約書	第3条	通訳音声の露出度について（メディアなど公共の電波にのる可能性はありますか？）	弊会で提供する通訳音声は記者会見場内で参加者各自が聴取するにとどまります。
2	契約書	—	キャンセル規定は受注業者が決まった後の協議となりますでしょうか。	事業ごとでキャンセル規定を設定することはありません。契約書に規定されている第14条、第15条を確認してください。
3	仕様書	P2・エ	遠隔同時通訳プラットフォームにて視聴者の最大同時接続数は何名ほど見込んでおりますでしょうか。	記者会見会場の面積により収容人数が異なることや当日の参加人数で異なるので、最大同時接続数は各記者会見場で異なります。つきましては、以下を参考としてください。 ・ MPC記者会見場：平均150名参加 ・ 各競技会場記者会見場：平均60名参加
4	仕様書	P3・キ（ア）	同時通訳者の想定される拘束時間を教えてくださいませんか。	本大会では、記者会見の実施時間帯に定めはなく、他の国際総合スポーツ大会と同様、早朝から深夜まで記者会見が発生することが想定されます。そのため、普段の受託業務や類似の業務で通訳者を拘束した時間を基に検討いただき、対応人数やシフトなどをご提案ください。
5	仕様書	P4・（2）	MPC及び各会場記者会見場でのRSI利用者想定数（1会場当たり）を教えてください。	質問No. 3 の回答に同様。
6	仕様書	P4・ア	コミュニケーションツールについて委託者と受託者で共有ということですが、委託者では何台使用を想定されていますでしょうか。またツールでは音声のみのやり取りを想定されていますでしょうか。それともテキストの共有なども想定されていますでしょうか。	メイン拠点（AINAGOC職員及び委託業者の活動拠点）と遠隔同時通訳センター（東京拠点）（以下「RIC東京拠点」という。）及び各競技会場記者会見会場間の連絡に使用することとしていますので、これまでの業務経験を参考に、共有して使用するにふさわしい台数をご提案ください。 また、音声のみか、テキストの共有を含むかについては、普段受託する業務でコントロール側と現場でやり取りする場合に活用する方を弊会へご提案ください。

愛知・名古屋2026大会における遠隔同時通訳拠点設置運營業務委託に関する質問及び回答

2025年3月14日17:00現在

No.	書類	該当箇所	質問内容	組織委員会回答
7	仕様書	P4からP6にかけて	メイン、RIC名古屋、RIC東京等各拠点および記者会見会場に有線LANはございますでしょうか？	弊会で通信回線を準備することとしていますが、接続方式については調整中です。なお、仕様書にも記載していますが、委託者で通信回線を準備する拠点は、メインオペレーション拠点、RIC名古屋拠点及び各記者会見会場であり、RIC東京拠点は受託者で通信回線を準備いただきます。
8	仕様書	P5・ウ	遠隔通訳拠点の選定条件として東京近郊とありますが、横浜市や千葉市の設置は問題ありませんでしょうか。	東京近郊として記載した理由として、通訳コーディネーター、技術者及び通訳者の勤務時間帯が通常と異なる可能性が非常に高いため、東京都内のみならず近隣県から通勤する方にとって便利のよい地域に設置をお願いしたいと考えたためです。拠点で勤務する方の利便性を考慮し、判断してください。
9	仕様書	P5・ウ	業務提案書に東京側の遠隔通訳拠点の場所を明記する必要がありますでしょうか。	提案書に拠点場所を明記することを必須としていませんが、想定している施設がある場合は、その旨を記載してください。
10	仕様書	P5・ウ	RIC東京会見での業務は、基本的にメダリスト会見のみという想定で宜しいでしょうか。	同時通訳は、RIC東京拠点を中心に運営していくこととなります。そのため、メダリスト会見のみならず、MPCの記者会見会場で実施される記者会見も業務の対象となります。なお、アジア競技大会終了日翌日（10月5日）からアジアパラ競技大会開催日前日（10月17日）までは、RIC名古屋拠点のみで同時通訳の対応を行います。
11	仕様書	P5・エ	アジア競技、アジアパラ競技の双方で会見を予定している会場は期間中機材を設置可能でしょうか。間に一度撤去する必要はありますか。	本件に関する運営は、現在調整中です。現時点では、一度撤去することを想定してください。
12	仕様書	P6・エ	会場の動画は大会オフィシャルの動画を頂けるのではなく受託者が通訳用の映像、音声別途用意するという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

愛知・名古屋2026大会における遠隔同時通訳拠点設置運營業務委託に関する質問及び回答

2025年3月14日17:00現在

No.	書類	該当箇所	質問内容	組織委員会回答
13	仕様書	P6・オ	公式会議はリモート通訳ではなく会場で実施予定でしょうか。想定されている会場があれば教えて頂けますでしょうか。またOCA総会、APC理事会は1日8時間程度の同時通訳業務、選手団団長会議は各日1時間程度の同時通訳業務が発生するという理解で相違ございませんでしょうか。	公式会議の通訳は会場で実施される予定です。想定は、名古屋市内の会場となります。各会議での業務時間は、お見込みのとおりです。
14	仕様書	P6・オ	公式会議における同時通訳業務の業務場所はどちらでしょうか。	質問No. 13の回答に同様。
15	仕様書	P6・カ	メダリスト会見において、他言語⇒日本語は全会見において必須という理解でしょうか？（日本語通訳は全競技の会見に入る）	愛知・名古屋2026大会における使用言語は仕様書に記載のとおりであり、公式記者会見及びメダリスト会見では、全使用言語を同時通訳することになります。アジア競技大会では、複数言語を使用することから、弊会ではリレー通訳を想定しており、その基幹となる言語を日本語と想定しています。その点で、日本語も全会見で必要になると考えます。なお、基幹となる言語については、提案者より運営に容易な言語を選択いただき、ご提案ください。また、リレー通訳は複数言語の同時通訳方法の一つと想定していますので、他の方法がよりよい運営となる場合は、併せてご提案ください。
16	仕様書	P8・（4）	宿泊の手配は業務履行における全てのスタッフ（通訳者、統括責任者、コーディネーター、エンジニア等）が対象になりますでしょうか。	RIC東京拠点及び東京の競技会場2会場以外で勤務するスタッフ（通訳者、統括責任者、コーディネーター、エンジニア等）が対象となります。
17	委託募集要領	P1・2（4）	契約額が2025年度と2026年度に分かれていますが、2025年度にも事業が発生する見込みでしょうか。発生する場合、具体的にはどのような内容でしょうか。	本契約上、2025年度に発生する業務は会場視察及び準備になりますが、機材やRIC東京拠点の手配、通訳者や技術者の訓練等に多額の費用が必要となると想定しているため、契約金額を2か年に分割しています。
18	委託募集要領	P1・3	「最も優れた企画提案者」について、あらかじめ企画提案書に記載する項目ごとの評価基準点は設けられていますでしょうか。	お見込みのとおりです。なお、評価基準点は非公開です。

愛知・名古屋2026大会における遠隔同時通訳拠点設置運營業務委託に関する質問及び回答

2025年3月14日17:00現在

No.	書類	該当箇所	質問内容	組織委員会回答
19	企画提案書作成要領	P1・提案項目①	不具合が発生した際の対応方法について。不具合には色々な不具合があると思いますが、本項目ではRSIに絞った不具合と考えてよろしいでしょうか（通信回線は委託者手配のため回線トラブルは想定しなくてよろしいでしょうか）。	本項目は、遠隔同時通訳プラットフォームに係る事項であるため、当該プラットフォームに不具合に対する対処法を記載してください。なお、これまでの経験を基に、通信回線に不具合が発生した際の対処法について提案できる場合は、記載してください。
20	—	—	東京のサテライト会場で業務を行う通訳者用に各競技のオフィシャル映像を頂くことは可能でしょうか。	本件については、現在調整中です。
21	—	—	国別の発言予定言語が分かれば教えて頂けますでしょうか。公用語が通訳言語に入っていない国は基本的に英語で良いでしょうか。 （人数想定の手前になります）	国別の発言予定言語について、現時点でお示しできるものではありません。通訳言語に含まれない言語については、英語での対応となる想定です。
22	—	—	業務提案書に表現として東京2020大会の実績・名称を記載してよろしいでしょうか。	契約相手方との取り決めに基づき、対応してください。